

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後デイサービスいっばい宮下
------	-----------------

公表日 年月日2025/03/14

利用児童数 22

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13			1		標準の放課後デイより広い事業所ではありますが、開所から8年度目を迎えて子供たちが着くほど成長し、以前より狭く感じるということがあるかもしれません。外遊びや外出の機会を豊富に増やすなど工夫を怠りません。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1		1	その日に何人いらっしゃるのかわからないですが、子ども一人になることはないかと聞いています。	法令で定められた職員2名に加え2名追加配置し、さらに運転手も配置しております。可能な配置条件の中で、相談しながらよりよい支援となるように努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13			1		バリアフリーの環境で、わかりやすく構造化し、情報伝達等にも配慮しております。環境面の様子も随時より変わります。工夫としてHPの保護ページに写真をアップする工夫を行っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	13			1	キレイだと思います。	継続してまいります。感染症対策もしっかりと行っています。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13			1		おうちの方が求める療育とは異なる療育ではなく、今現在のお子様に対するベストの療育を求められていると思います。そのことを忘れず、研修や振り返りを通じ、常に専門性を高める努力を職員一同努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			1		公表プログラムは今回の改正により今年度末までの公表が義務付けられたものです。リハケア神戸各事業所は1月末にHPにて公表いたしました。公表しているプログラムをしっかりと実践してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13			1		おうちのたのしみとニーズのずれはないかなど、面談などの機会に今一度しっかりと分析し、よりよい計画・支援となるよう努めてまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			1		今回の改正より記載内容が変更されています。必要な項目が適切に設定され、具体的な内容が設定されているように今後も努めてまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1		1		日頃や面談時のご連絡の際により伝わるように努めてまいります。日々のHPおちよめんも活用していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1		1		子供たちは成長とともに興味やパワーが変化しています。子供たちの話合いもいながら、工夫した過ごし方を常に模索してまいります。各職員も学びを生かしたプログラムも継続して行っております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7		1	6	学校であるし、必要ないと思います。	支援行動障子の方にとっては交流の難易度が高いという問題があります。新しい目標につながる可能性が高く、メリットよりデメリットが大いにあるという問題があります。また、個人情報観点から希望される保護者の方がいりません。お出かけの際や公園で遊ばせたい方にはもちろん、地域で生活するうえでのマナーを守り、ちよめんも活用できることをめざしています。
保護者への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	1			分からない事は分かりやすく説明して下さっていると思います。	今後もより丁寧な説明に努めてまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	1		1		同意をいただいた以降でも、わかりにくい点や不明な点がある場合はいつでもご連絡いただければとを随時しっかりとお伝えするようにいたします。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14					様々な特性をもつお子様が利用して下さっているため、特性に対する内容につきましては集団よりも個別でオーダーメイドのペアレントトレーニングを提供させていただくことが効果的であると考えております。ささいな事でも気軽に相談していただける関係性を築きます。より効果的なペアレントトレーニングを提供できる事業所とされるよう継続して努めてまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1				積極的にお子様の状況や課題を共有し共通理解を徹底することを今後も継続して努めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					連絡帳・お手紙・お電話・面談等で何となく相談に対し、必要なアドバイスをお電話・お手紙・お面談等でお返事させていただきます。必要時には学校の先生とも連携しています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					電話での相談、送迎時の声かけ等、ていねいな温かい対応でありたいです。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14				月に1回のみのカフェという茶話会を開催し保護者同士の連携支援を行っています。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1			連絡帳・お手紙・お電話・面談等で伺ったご相談に対し、必要なアドバイスや電話・お手紙・お電話等でお返事させていただき、必要時には学校の先生とも連携しています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					個々の状態に応じて意志の疎通や情報伝達の際には視覚支援を用いる等、適切な方法を取っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1				毎回HP連絡帳を通して保護者様への情報提供を行っています。必要時は個別のお手紙や電話連絡等により詳細な情報の共有を行っています。裏付けられている自己評価結果の公表をHPにて行っております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					個人情報記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。使用しているウェブカメラについては自衛隊からの調達に基づいた専門業者による安全対策を行うなど適切に対応しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14				マニュアルを策定し研修を行い職員に周知しております。保護者様には契約時に説明とあわせてマニュアルをお渡ししています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13		1		地震、火災、不審者、竜巻について月に毎月避難訓練を実施しています。必要な非常食や避難用品を備蓄し、毎年点検を行っています。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24					保護者様には契約時に説明とあわせてマニュアルをお渡ししています。非常災害の訓練だけでなく、感染症対策訓練も定期的に実施しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24					事故等（怪我等を含む。）が発生した際には、事業所からの速やかな連絡や事故が発生した際の状況等についての丁寧な説明、事業所がすべき適切な対応（保護者に連絡をとったうえで受診する等）を心がけています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24				家庭以外の安心できる場所を作ってください感謝しています。	家族以外にも、自分のことを理解しようとしてくれる、ながあっても成長のために本気で向き合ってくれる大人がいるんだ、と子供たちが感じられることを目指しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	1			◎をつけてくださった方もおられました	職員間で協力し考えながら子供たちが楽しみにしてくれるような事業所となれるように努めています。年齢とともに子供たちの興味は変化しレベルアップしています。スマホやタブレットやゲームがあるおうちの環境は強敵ですが、いっぱい来て、友達や職員と関わって過ごして楽しかったなと感じられる場所になることを目指しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24					子供たちにもおうちのかたにも満足していただける支援をめざして日々努めています。おうちのかたと一緒に子供たちの成長を支援できることに職員もやりがいや喜びを感じさせていただいています。